

今後、取り組む予定の対策

社名	内 容
a	(2018年度から随時実施) ・熱源更新：ターボ冷凍機更新及び付属ポンプにインバーター（1本社） ・LED照明更新（2本社、3工場） ・空調機更新（1工場）
b	・個別空調機の省エネ型更新 ・熱交換機洗浄による熱交換率向上 ・人感センサー付エスカレーター導入
c	・照明のLED化 本社ビル 40w相当 194基 東館 1階200基、2階200基
d	(A工場) ・外灯（水銀灯）を高効率照明ランプへ更新 (B工場/2017年度) ・輸転機およびその他生産設備の更新（2018年度後期） ・熱源設備の更新（同） ・工場内の照明のLED化（同以降）
e	・更新期を迎えた照明および器具故障した照明のLED化（順次更新のため長期的に継続中） ・老朽化した熱源機器・空調機の更新（未更新のA工場、B工場について今後数年かけて1台ずつ更新）
f	・新聞制作用サーバーの更新およびクラウド化（サーバー冷却用空調負荷の低減を含む）（2020年～2023年） ・印刷センター空調機更新（2018年～2020年） ・無停電電源装置のインバーター高効率化（時期、詳細・省エネ率等は不明）
g	・テレワーク導入によるオフィスの省エネ（テレワーク導入済）
h	・館内の蛍光灯（直管型）を順次LEDに更新する（実施時期未定）
i	・A本社、B本社、C本社とも冷暖房の空調機器の温度設定をこれまで以上に徹底していく。A本社が入居しているテナントビルの照明器具はLEDで統一。B本社、C本社においてもLEDへの交換が進むと予想される。自社ビルではないため、当社の判断だけでは進めることができないが、社員1人1人の省エネ意識を高める告知活動は継続していきたい
j	・工場内でLED化されていない照明器具の更新（年度は未定）
k	・リサイクルの徹底（2018年度）
l	・LED照明の導入
m	・今年度より竣工後15年を経過した整備時期のファン、ポンプ等のモーターを高効率モーター（トップランナー仕様）へ順次更新を行う計画。また、効率および性能の回復を目的としたターボ冷凍機（2台）、冷温水発生機（10台）のフルオーバーホールを順次実施中（2017年～2022年計画）

社名	内 容
n	・ 共用部と事務室照明のLED化
o	・ 支社：天井照明のLED化を進める。 ・ 印刷工場：空調機器およびコンプレッサーの運転スケジュール変更（台数制御）（2019年度）
p	・ 社内照明のLED化
q	・ 空調設備の見直し、トイレ等旧型機を節水タイプに更新（時期未定）
r	・ 印刷工場の照明のLED化（時期未定）
s	・ 各種設備更新などで排出が抑制されたCO ₂ 等の排出権売買等
t	・ 2020年1月稼働を目指し、新印刷センターの建設が始まった。省エネ型の輪転機の導入や照明・空調設備の高効率化を想定した計画となっているため、現在のセンターと比べ、エネルギー使用量の減少が見込める
u	・ R22冷媒使用の老朽エアコン更新
v	・ 外部委託印刷による電力削減
w	(本社) ・ 各所の空調機、便器等を、節電、節水型の設備に更新する ・ 保管中のPCB入り蛍光灯安定器の適正保管。荷姿登録を完了し、産業廃棄物処理業者からの処理開始連絡を待つ (工場) ・ 館内照明器具のLED化(2018～2023)
x	・ 燃費が比較的よくない車を、より燃費のよいもの買い替える予定（2018年度）
y	・ 照明器具の更新（LED化：2018年度～2021年度） ・ マルチエアコン、設備室用空調機の更新（2018年度～2023年度） ・ 熱源機器の見直し（貫流ボイラー、ターボ冷凍機等）
z	(2018年度) ・ A本社 地下1階フロア階廊下照明LED器具に更新 ・ A本社 4階フロア照明LED器具に更新 (2018年度以降毎年) ・ 各工場にて照明のLED器具更新および空調、熱源設備のスケジュール細分化および熱源運用効率化
a a	・ 「A川を美しくする運動」の継続発展 ・ 損紙削減、リサイクルの推進
a b	・ 印刷工場、各支社の照明LED化を進める予定
a c	・ 本社ビルの照明器具をLED電球に順次切り替える。あわせてエアコンの更新も行う。いずれも設置から20年以上経過しており、省エネ型の機器を導入する
a d	・ LED照明への交換（2018年6月～8月） ・ 空調システムの見直し（2019年度以降）

社名	内 容
a e	・ 数値目標の設定やその達成に向けた社内の意識改革を推進していきたい
a f	・ 印刷工場事務所LED化
a g	・ 2018年7月に会議室空調設備を更新（使用頻度が低いため削減効果は少ないと思われる） ・ 同年8月中旬に消費電力を抑えるフェライトをブレーカーに設置予定。使用量に対し10%程度の削減を目指す
a h	・ 照明を従来の蛍光灯からLEDへ交換（本社ビル 2018年）
a i	・ 照明のLED化
a k	・ 施設の照明設備を点検した結果、24時間点灯している非常誘導灯の照明設備を2018年7月にLED化した。今後も照明設備の再点検を行い、エネルギー削減に努めたい
a k	・ 植林事業 ・ 新聞古紙回収
a l	・ 照明のLED化（時期は未定）
a m	・ 省エネ型エアコンへの更新 ・ 照明のLED化
a n	・ エアコンの室内洗浄
a o	(2018年度) ・ 高効率チリングユニット(印刷工場) 原油換算効果4k 1/年 10月末完了→チリングユニット更新は補助金(平成29年度 省エネルギー設備の導入・運用改善による中小企業等の生産性革命促進事業)申請し、採択された ・ 変圧器の更新(印刷工場) 原油換算効果2k 1/年 12月末完了 ・ 輪転機上部水銀灯のLED照明化 原油換算効果4k 1/年 12月末完了
a p	・ 2018年度に給湯チラーを業務用エコキュートに更新予定
a q	・ 照明設備のLED化（残りの蛍光灯を数年かけてLED化） ・ 古くなった変圧器をトップランナー式のトランスに交換（2019年まで）
a r	・ 2018年7月～8月にかけて本社ビル各階の消費電力を測定。今後の省エネ計画の策定に役立てようと考えている
a s	・ 機器設備更新の際は、省エネ効率の高い機器を導入
a t	・ 現在は紙ベースで社員に配布している社報を、用紙削減の観点から、WEB版に変え、印刷物を減らす方針
a u	(2018年度) ・ 5月に新本社ビルに移転した。前本社ビルはテナントビルとして9月から本格稼働する予定。両ビルの電力消費を抑制していきたい